

松江工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	技術文書作成	
科目基礎情報							
科目番号		0046		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		電気情報工学科		対象学年		5	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		別府、渡辺, 工学系卒論の書き方, コロナ社					
担当教員		別府 俊幸					
到達目標							
1. 就活または編入に必要な履歴書等提出書類を作成でき、様式にしたがって、卒業論文作成ができる（内容については卒業研究で指導する）							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		様式にしたがって、まともな文章で、卒業論文作成ができる		様式にしたがって、卒業論文作成ができる		様式にしたがって、卒業論文作成ができない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 E2 電気情報工学科教育目標 E2							
教育方法等							
概要		就活に必要な履歴書等提出書類または、大学編入に必要な志望書類の書き方を修得する。 卒業研究に必要な論文の書き方を修得する。					
授業の進め方・方法		授業中適宜レポートを課す。 すべてのレポートを提出した者のみ期末レポートを評価する。 期末レポートで60点以上を合格とする。 再評価試験は実施しない。					
注意点		就活に間に合わせるため、休業期間中から講義を行う 教科書を持参しない者の出席は認めない（退出してもらう）					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	履歴書の書き方		履歴書が書ける		
		2週	エントリーシートの書き方		エントリーシートが書ける		
		3週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		4週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		5週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		6週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		7週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		8週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
	2ndQ	9週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		10週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		11週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		12週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		13週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		14週	科学・技術文章の書き方・演習		この週の授業内容を理解した		
		15週	科学・技術文章の書き方・演習		これまでの授業内容を理解した		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	物理、化学、情報、工学における基礎的な原理や現象を明らかにするための実験手法、実験手順について説明できる。	3		
				実験装置や測定器の操作、及び実験器具・試薬・材料の正しい取扱を身に付け、安全に実験できる。	3		
				実験データの分析、誤差解析、有効桁数の評価、整理の仕方、考察の論理性に配慮して実践できる。	3		
				実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。	3		
				実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。	3		
				実験データを適切なグラフや図、表など用いて表現できる。	3		
				実験の考察などに必要な文献、参考資料などを収集できる。	3		
				実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。	3		
				個人・複数名での実験・実習であっても役割を意識して主体的に取り組むことができる。	3		
				共同実験における基本的ルールを把握し、実践できる。	3		
レポートを期限内に提出できるように計画を立て、それを実践できる。	3						

		情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3	
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3	
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	3	
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	3	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	3	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	3	

評価割合				
	中間試験	期末試験	レポート	合計
総合評価割合	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0
専門的能力	0	0	100	100
分野横断的能力	0	0	0	0